

## 国債電子取引、窓口一つに

証券2社が  
システム統合へ

機関投資家向けに国債  
の電子取引システムを運  
営する証券会社2社が、  
来年初めにもシステムを  
統合する方針を固めた。  
以下であり、投資家向け  
の窓口を一本化すること

で利便性を高めて利用を  
促す。価格の透明性が高  
い電子取引の利用が増え  
れば、取引参加者の多様  
化も進みそうだ。

電子取引システムを運  
営するのは野村証券、大  
和証券キャピタル・マー  
ケッツなどが出資するエ  
ンサイドドットコム証券  
(東京・港)と、ジェイ・  
ボンド東短証券(同)。シ  
ステム統合後はエンサイ  
ドットコム証券が機関投  
資家向けの窓口となる。

電子取引は複数の証券  
会社が価格を提示するた  
め、投資家はもっとも有  
利な価格で国債を売買で  
きる。運用会社や信託銀  
行などの利用が増えてい  
るといふ。

相対での電話注文の場  
合は、注文を受けた証券  
会社が日本相互証券など  
を通じて他の証券会社か  
ら国債を購入している。